

## 岩見沢はどう？

雪のことは聞いていました  
実際に住んでみて、多いなと実感しました

でも、除雪はしっかり行き届いているので良いと思います  
私の地元は、大きい道路でさえきちんと除雪されないところもあるので

必要なものがコンパクトにまとまっていて、とても過ごしやすいです

今は、住みたいという強い思いはないが、条件が良く住みやすいまちだと思っています

どこに行くにも便利で、立地が良いと思います

暮らすうえで、基本的には市内で解決するので、不便は感じないです



いのまた たくみ  
猪股 巧美 さん

## みんなは市内の人？

みんな出身は市外なんです  
通学は1人で、その他は岩見沢に住んでいます

## まちづくりに携わったことは？

高校の時に、地元の課題研究という授業があって、地元の特産物を使ってラーメンやスイーツの開発をしたことがあります

1日だけの清掃活動などには参加したことがあったが、今回のような長期に渡る活動は初めてです



かわかみ りょう  
川上 洸 さん



## どんな取り組みを？

まちづくり基本条例の小学生向けのパンフレットをつくりました  
中学生・高校生向けはあるけど、小学生向けはなかったの

調べるのが苦労すると思っていたけど、まちづくりって意外とハードルが低く、情報がたくさんあって、中身よりデザインに苦労しました

小学生が分かる言葉に置き換えたり、簡潔に説明できるように文字数を少なくしたりという点に注意しました



# ちよつとの意識がまちを変える



岩見沢というまちに関して、「こうしたい」「こうだったらいいな」と思うことはありませんか？

平成27年に施行された「岩見沢市まちづくり基本条例」は、そういった思いを岩見沢に関わる人「みんな」で実現する、協働のまちづくりを進めるために作られました。

条例制定から5年が経過しました。

今月号は、ある取り組みを通して、改めて協働のまちづくりを考えます。  
問合先 市民連携室



市職員が出演して説明します  
12月13日(金) 午後5時40分

## 若い世代から

北海道教育大学岩見沢校では、地域が抱えている少子高齢化や人口減少などの問題を調査・研究しながら地域活性化を考える「地域プロジェクト」に取り組んでいます。  
学生たちは、班に分かれて取り組んでおり、その中のひとつの班が、「岩見沢市まちづくり基本条例」をテーマとして取り上げました。

どのような取り組みなのか、学生たちに聞いてみました  
感じたことや気持ちの変化など、いろいろなことが聞きましたよ

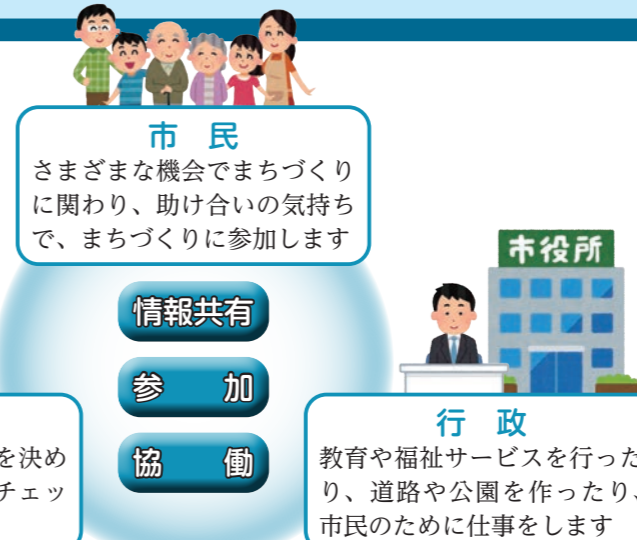


おおた たつき  
太田 樹 さん



## まちづくり基本条例って？

条例には、みんなが協力してまちづくりを進めていくための仕組みや基本ルールが定められています。  
まちづくりを進めるためには、市民・議会・行政が、それぞれの役割と責務を認識し、自分たちの行動に責任を持ち、お互いの意見や行動を尊重しながら、対等な立場で協力して取り組むことがとても重要です。



**市民**  
さまざまな機会でもちづくりに関わり、助け合いの気持ちで、まちづくりに参加します

**議会**  
岩見沢市の条例や予算を決めたり、市役所の仕事をチェックしたりします

**行政**  
教育や福祉サービスを行ったり、道路や公園を作ったり、市民のために仕事をします

## 3つの必要なこと

**まずは知る** 情報共有の原則  
まちづくりのためには、まちのことを知らなければなりません。  
議会・行政だけでなく、市民の皆さんが発信する情報も必要です。それぞれが、まちづくりに関する情報を共有することが欠かせません。

**参加しよう** 参加の原則  
議会・行政は、市民の皆さんがまちづくりに参加しやすい環境を整備します。  
市民の皆さんは、さまざまな催しやイベントに積極的に参加しましょう。

**ともに支えよう** 協働の原則  
お互いに相手の立場を尊重し、信頼関係を作り、協力しながら課題に取り組んでいくのが、協働のまちづくりです。

町会・自治会や学校での取り組みなど、身近なところに協働はたくさんあります。



旗の波運動



ラジオ体操



学校で行われるボランティア活動



利根別川クリーン・グリーン作戦

### みんなで一緒に

有<sup>レ</sup>になります。普段、何気なくやっていることが、実はまちづくりに携わっているということになるんです。

私たちの生活の中で、一番身近で大きな役割を持つ組織と言えば、町会・自治会です。例えば、夏休みのラジオ体操や盆踊りといった取り組みは、町会・自治会が関わっている

### みんなの権利

条例の中では、市民の権利として、知る権利、平等に参加できる権利、提案する権利の三つの権利が明記されています。

どれも当たり前の話ですが、そういう権利を持っているということ意識して、積極的にまちづくりに参加してください。

それが、より良い岩見沢市につながります。

他にも、各団体や地域では、皆さんと協力しながら、さまざまな活動が行われています。これは全て「協働」になります。

ことが多いです。

### 取り組んでみて、何か変わった？

まちづくりって言われても、何をしたらいいのか分らなかった。調べて「こういう取り組み自体が、まちづくりなんだ」ということに気付くことができました

まちづくりって、建物や道路の整備など、建設的でスケールの大きいことを想像していたけど、小さいことでも全てがまちづくりにつながっていると知りました



みずかみ りこ 水上 莉子 さん

お祭りやごみ拾いに参加することがまちづくりと思っていたけど、そういう情報を友達と教え合うだけでも、まちづくりになるんだと、まちづくりに対しての考え方が変わりました

今まで以上に、イベントなんかに参加したり、協力したりと、自分のできる範囲でやろうという意識を持ってました

去年、IWAMIZAWA ドカ雪まつりに行ったんですけど、それもまちづくりに参加しているということで、気負う必要はないということが分かりました

やりがいを持って取り組むことができたし、カタチになったことで達成感がありました



うしざわ たくみ 丑澤 拓巳 さん



学生たちは、まちづくりに対して、誤解があったり、新たに分かったことがあったりと、考え方や意識が変わってきたようです。市民連携室の大川さんに、まちづくりのことを具体的に聞いてみました

### まちづくり出前講座

市は、協働のまちづくりを進めるにあたり、職員が市の取り組みなどを説明する、出前講座を開催しています。

#### 主な講座テーマ

- まちづくり ●交通安全 ●男女共同参画
- 国際交流 ●災害対策 ●年金・保険制度
- 税金 ●子育て ●健康づくり
- 上・下水道 など

※希望に合わせたテーマで開催できます。詳しくはお問い合わせください。

対象	町内・自治会や市内に在住、通勤、通学する10人以上の集まり
時間	平日の午前10時から午後9時までの間で1時間30分程度
会場	申込者が手配
費用	無料(会場使用料は申込者が負担)
申込方法	講座テーマを1つ選び、開催日の2週間前までに市民連携室へ
その他	政治、宗教、営利を目的とした集まりは除きます。質疑や意見交換を行います。苦情や要望の場にならないようにご協力をお願いします
問合せ先	市民連携室市民相談・交通防犯係

### まちづくり基本条例推進委員会

まちづくり基本条例推進委員会は、「情報共有」、「参加」、「協働」に関する市の取り組み状況の確認や、効果的な取り組みに関する話し合いを行っています。これまでも、情報発信やごみ処理に関する意見を市政に反映してきました。委員会は傍聴できます。開催の際は、市ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



### 住民だけではない

よく勘違いされるのが、「市民は市内に住んでいる人のことではないよ」という市民の定義です。この条例では、住民だけでなく、今回、まちづくりに携わった学生のよ

#### 【市民の定義】

- 市内に住む人(住民)
- 市内に通勤・通学する人
- 公共の利益のために活動する団体
- 事業者

### まちづくりって?

「そもそも、まちづくりってどういうこと？」と聞かれます。道路や公園、建物の整備といったハード面から、福祉、環境、教育などのソフト面まで、生活に関するさまざまな分野で、より良い岩見沢市にしたいための全ての活動が、まちづくりなんです。



うに、岩見沢市に通学している人も「市民」としています。

### 難しく考えなくて

まちづくり基本条例という言葉だけ見れば、「何だか難しそうだな」「具体的に何をすればいいの?」と考えるかもしれません。でも、難しく考える必要はなく、新しく何かをしなればならないわけでもありません。

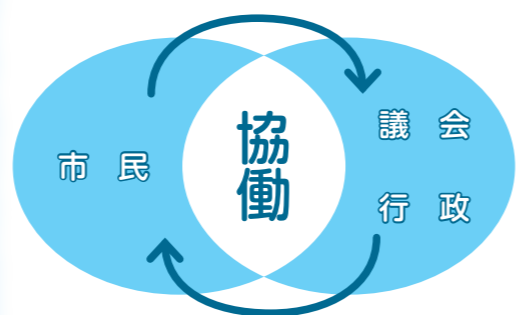
今までも、皆さんの協力を得て、まちづくりを進めてきたので、今の岩見沢市があります。

今まで以上に、まちづくりの取り組みが重要になってきたため、仕組みやルールを明確にして、みんなで共有しようという目的で、この条例がつくられました。

### みんな参加してる

皆さんの中には、「まちづくりに参加している実感はない」という方がいるかもしれません。そんなことはなく、例えば、「来月、百餅祭りだよ。家族で行くの?」という友達との会話も、「情報共有」になり、実際に百餅祭りに行くことで「参加」になります。さらに、その様子を友達に話したり、自分のブログやSNSに投稿したりすることも、「情報共

### 情報の共有と積極的な参加



### 情報の共有と市民参加の推進

子どもから大人まで、大多数の人が知らず知らずに、まちづくりに携わっています。

岩見沢に関する会話や、催し・イベント・ワークショップへの参加、各種委員などの応募、アンケートへの回答、意見の提案など、全てがまちづくりへの参加です。

何かをすることで、すぐに効果が表れるものではなく、劇的に変わるものでもありませんが、まちづくりを少し意識して、できることから始めませんか。それは必ず岩見沢市にとってプラスになります。

みんなで情報共有、そして、まちづくりに積極的に参加し、協働のまちづくりを進め、岩見沢というまちを「みんな」で作ってあげましょう。

